

第35回全国都市緑化やまぐちフェア

開催記念フォーラム

～人と緑の新しい関わり方、山口県の未来～

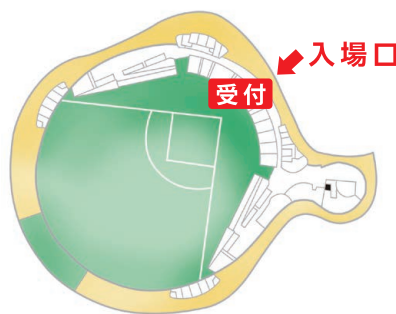
参加者募集

事前申込
不要

2018
9/16 SUN
13:00 ▶ 16:00
受付 / 12:30～

山口きらら博記念公園
多目的ドーム

山口県山口市阿知須509-50



「山口ゆめ花博」会場内のため、入場券が必要となります。

No	次第	登壇者（敬称略）
1	開会・主催者挨拶	
2	基調講演①《40分》 休憩	〈「庭」や「花」のイベントは地域を元気にする。〉 高野 文彰
3	基調講演②《50分》 休憩	〈都市への緑の回帰：新山口駅垂直庭園〉 パトリック・ブラン
4	パネルディスカッション《60分》	高野 文彰・古澤 達也・澤田 裕二・川崎 徳子・金子 敦子
5	閉会	



山口から開花する未来への種まき。
～150年を振り返り、次の150年につなぐ～

お問合せ先

第35回 全国都市緑化やまぐちフェア実行委員会 事務局
(山口県 総合企画部 山口ゆめ花博推進室)

TEL.083-933-4793

ホームページ <http://yumehana-yamaguchi.com>

開催記念フォーラム

～人と緑の新しい関わり方、山口県の未来～

2018年9月16日 13:00～16:00 山口きらら博記念公園 多目的ドーム



メインキャラクター
やまりん



サポートキャラクター
ちよるる

テーマ 「庭」や「花」のイベントは地域を元気にする。

基調講演 ①



たかの ふみ あき

高野 文彰 氏

高野ランドスケーププランニング株式会社 取締役会長

1944年 中国天津市生まれ。北海道大学農学部、GEORGIA大学大学院卒業。技術士。ランドスケープを軸にガーデンと地域活性化に尽力し、国際的な舞台で活躍する。1997年ショーモンガーデンフェスティバル(フランス)に出展し、デビュー当時のパトリック・ブラン氏と親交を深める。2011年～2015年には国際ランドスケープアーキテクト連盟日本会長に就任。氏がディレクターを務める北海道ガーデンショーは、2015年の最も注目されるガーデンショーとして、国際ガーデンツーリズム協会から表彰される。長崎ハウステンボスガーデニングワールドカップ(2013年) 審査員、シンガポールガーデンショー(2016年、2018年) 審査員などを務める。

テーマ 都市への緑の回帰：新山口駅垂直庭園

基調講演 ②



パトリック・ブラン 氏

アーティスト／植物学者

1953年 パリ生まれ。垂直庭園の概念を発明したアーティストにして、植物学者。専門は熱帯雨林の下層部に生息する植物の研究。ジャン・ヌーベル、レンゾ・ピアノ、SANAAら著名建築家ともコラボレーションしながら、世界中のさまざまな環境の下で、200もの垂直庭園プロジェクトを手がける。2015年、JR新山口駅南北自由通路に全長約100メートルにおよぶ「垂直の庭」を作り上げた。これは、2013年に氏が自ら山口の森林に入って採取した多種多様な野生植物を、2年に渡り培養し壁面に植え込んだ、140種の植物による自然のアート。現在も成長を続ける生きたアートとして壁面を彩り、四季折々の表情で人々を魅了し続けている。

パネルディスカッション 【コーディネーター】高野 文彰



国土交通省都市局公園緑地・景観課 課長

古澤 達也 氏

パネリスト

1962年 東京都生まれ。1985年建設省入省。公園緑地関係を専門として、関東・九州地方の国営公園の整備・管理のほか、歴史的風土の保存や都市内農地の保全など、都市計画に基づく緑の保全・創出に携わる。近年では海外における日本庭園の再生プロジェクト、北京国際園芸博覧会政府出展の準備なども担当。国土交通省都市局都市計画課環境計画調整官、さいたま市技監、都市局公園緑地・景観課緑地環境室長などを経て、2018年8月から現職。



「山口ゆめ花博」プロデューサー

澤田 裕二 氏

パネリスト

1957年 東京都生まれ。明治大学工学部建築学科卒業。博覧会プロデューサー。ジャパンエキスポ山口きらら博(2001年)プロデューサー、愛知万博(2005年)イベントディレクター、サラゴサ国際博覧会(2007年 スペイン)日本館プロデューサー、第63回全国植樹祭(2012年)式典専門委員を歴任。現在、2025年日本万国博覧会誘致委員会委員、技能五輪国際大会誘致に向けた検討委員会、国際日本文化研究センター共同研究「万国博覧会と人間の歴史」共同研究員を務める。



山口大学教育学部 准教授

川崎 徳子 氏

パネリスト

山口大学大学院卒業。公立小学校教員、山口大学教育学部附属幼稚園教員を経て、2013年より山口大学教育学部准教授。専門は幼児教育、保育学、子どもの発達、臨床心理学。教育現場における子どもの姿や遊んでいる様子などを捉えながら、子ども理解から、深く人間理解を思考している。将来を見越した子どもの遊び空間のあり方について、山口県と共同研究を行っており、その成果は、山口ゆめ花博での遊びエリア「子どもの育ちを支える公園」に反映されている。



新山口駅駅前広場活動運営実行委員会 委員長

金子 敦子 氏

パネリスト

一級建築士。山口県都市計画審議会委員。山口県景観アドバイザー。2013年から「新山口駅南北自由通路垂直庭園実行委員会」のメンバーとして「垂直の庭」のメンテナンス活動等を行う。併せて、2016年から「新山口駅 駅前広場活動運営実行委員会」の委員長を務めながら、素敵な「ガーデンシティ山口」を目指して、「つながりマルシェ」「垂直の庭インストラクター養成講座」を企画運営するなど、緑のつながりを家庭に広げ、まちに広げる取組を行っている。